

静岡県歯科技工士会学術大会

2023年7月23日 自由課程

講師：生田龍平先生

演題

- ①「総義歯製作の上手くいくポイントとは」
- ②「歴史からみた排列基準の変遷」

抄録

総義歯の歴史をたどればギーゼのフルバランスドオクルージョンや歯槽頂間線法則は皆さんご存知の通りだと思います。さらにさかのぼるとボンウィルの3点接触咬合理論などフルバランスの原型になる理論もあります。なぜそのような理論が生まれたのかを考えて行きたいと思います。そして先人達が発表したその理論は現在も脈々と受け継がれていると思います。例えば歯槽頂間線法則は食物を噛んだ時に義歯床が出来るだけ動かない事を目的とし、その考え方はリングライズドオクルージョンに発展して行きます。フルバランスドオクルージョンについても咀嚼時の咬合面のあり方で現在はどの様に顎運動をするかによっても変わって来ると思います。また歯科界もデジタルの時代に突入していると思いますが義歯に関してもしかりです。そうなった時でも何が大切かのキーワードは決して忘れず進めて行く事が重要で、ただキーボードを打てば出来るのではなく今までの基本的な考え方を踏襲しデジタルへの移行もしくは併用が必要かと思います。今回は今まで行って来た考え方を臨床のケースも含めてお話をしたいと思います。